

消化器内科・消化器外科に、通院・入院歴のある患者さんへ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川県立中央病院臨床研究専門委員会の審議にもとづく病院長の許可を得ています。

[研究課題名] 香川県下における消化管術後縫合不全の現状と内視鏡介入の治療成績

[研究責任者] 香川県立中央病院 消化器内科 部長 和唐 正樹

香川県立中央病院 消化器・一般外科 部長 小野田 裕士

[研究分担者] 香川県立中央病院 消化器内科 医長 山内 健司
(研究実施者)

[研究の目的]

消化管の外科手術の合併症の一つに縫合不全(手術時に消化管をつないだ部分が十分に癒合せずに離開してしまうこと)があります。縫合不全は治療に難渋し、時に瘻孔(2つの管腔臓器間などをつなぐように生じる欠損孔)を形成して長期入院や再手術を必要とすることも少なくありません。我々は有効な縫合不全・瘻孔治療について検討していくにあたり、まずは縫合不全・瘻孔の現状を明らかにする必要があると考えております。そのため、縫合不全・瘻孔を発症された患者さんの経過や治療方法、臨床データなどを集計して、今後、縫合不全・瘻孔における入院期間の短縮、さらには患者さん予後の改善へとつながるように内視鏡的治療戦略を確立することを目的としております。

[研究の方法]

○対象となる患者様

2015年1月1日～2019年12月31日に香川県内の対象施設で施行された消化管疾患で消化管切除を必要とする外科手術症例で術後縫合不全を発症された方

○利用する診療情報

診断名、性別、年齢、術式、手術日、治療法、入院期間、転帰など

[外部からの検体・診療情報の提供]

利用する外部施設所持の診療情報等は、患者さん個人が特定できない状態とし、電子システムを使用して、下記の提供施設より研究組織へ提供されます。

[研究組織]

香川大学医学部附属病院 消化器内科 医員 多田 尚矢

香川大学医学部附属病院 消化器内科 講師 小原 英幹

香川大学医学部 消化器・神経内科学 教授 正木 勉

香川大学医学部附属病院 消化器外科 准教授 岡野 圭一

香川大学医学部附属病院 手術部 准教授 臼杵 尚志

【既存情報の提供施設およびその施設の提供責任者】

高松赤十字病院	消化器科	柴峠 光成
高松赤十字病院	消化器外科	石川 順英
香川県立中央病院	消化器内科	和唐 正樹
香川県立中央病院	消化器・一般外科	小野田 裕士
香川県済生会病院	消化器内科	尾立 磨琴
滝宮総合病院	内科	井上 秀幸
香川労災病院	消化器内科	出口 章広
香川労災病院	外科・消化器外科	村岡 篤
回生病院	消化器内科	杵川 文彦
高松市立みんなの病院	消化器内科	田中 育太
高松市立みんなの病院	外科	福田 洋
KKR 高松病院	消化器内科	小林 三善
KKR 高松病院	消化器外科	藤田 尚久
三豊総合病院	消化器科	永原 照也
りつりん病院	消化器外科	竹内 聖
四国子どもとおとなの医療センター	内科	林 亨

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[本研究に関する問い合わせ先]

本研究に関し、研究の方法に関する資料の閲覧、疑問、苦情などある際には、下記までご連絡ください。

〒760-8557 高松市朝日町1-2-1

香川県立中央病院 消化器内科 診療科長 稲葉 知己 ※研究責任者

消化器内科 医長 山内 健司 ※研究分担者（実施者）

電話 087-811-3333（代表）